

里地里山の保全・活用の取組における課題と技術的方策等

分類	地域活性化／バイオマス等資源活用
手法名	竹林景観整備を契機としたエコツーリズムづくりと地域活性化
主体	NPO法人緑と水の連絡会議他関連団体
背景(地域の課題)	<p>里山には希少な動植物だけでなく、古墳や城郭、鉱山跡などの貴重な歴史遺跡が残されているところが数多くある。侵入竹林問題は、こうした歴史遺跡の破壊にもつながるものであり、生態系保全上の問題と合わせて各地で課題となっている。</p>
手法／方策の詳細	<p>世界遺産石見銀山は、「石見銀山遺跡とその文化的景観」として認定・登録されている。しかし遺跡中心部が侵入竹林によっておおわれ見ることができない状態となっており、そのほとんどがテングス病にかかっている状況だった。そこで遺跡の保全と地域の活性化という観点から竹林整備作業が行われている。</p> <p>1) 竹林整備活動 世界遺産化前から「世界遺産をめざす会」地元有志による竹の伐採作業が実施されており、それが世界遺産登録実現の大きな力の一つとなった。 世界遺産登録後は、遺跡の中心部で「99%間伐」による竹伐採・除去作業を行い、チップ化してフィールドにもどすという作業を行っている。</p> <p>2) 身近なところからの竹利用 ① 子どもたちと楽しむ竹利用 遺産を覆う竹の利活用として、竹種がハチクであり、子どもたちでも比較的タケノコ掘りが容易にできることから、子どもたちのタケノコ採りイベントを行っている(写真1)。 また、竹楽器作りとコンサートを地元の小学生と共に取り組んでいる。 ② 竹チップの利用 伐採竹はチップ化し、柿農園で防草マルチや堆肥として利用したり、銀山の歩道で竹チップ入り真砂土として簡易舗装として利用している(写真2)。 ③ グリーンボランティアツーリズムの展開 地元小学校や国際ワークキャンプと連携して、ボランティアメニューとして竹林整備活動を提供。世界から環境ボランティアを呼び込むことで地域活性化につながる効果をあげている。</p> <p>3) 新たな竹利用策と地域活性化 ① 竹紙(写真3) 石見銀山の竹林整備で発生した竹材も用いた竹紙を100%用いて石見銀山を紹介する冊子「銀のまちをつくった人たちの話」を自費出版。竹の利用と共に地域PRを行った。 ② 竹杖の利用(写真4) 石見銀山の竹林整備で切った竹を杖に加工し、観光客に貸し出す事業を実施。また、竹の杖デザインコンテストを行うなど、新たな歩く観光「竹の杖をもって銀のまちを歩こう」を掲げ普及啓発と地域活性化を図っている。</p>
手法・技術的視点	<p>竹林整備活動を契機に、世界遺産登録を実現したり、エコツーリズムなど観光産業にかかわる事業を展開しており、保全整備と共に地域活性化効果をあげている点で着目される。</p>

<p>実行プロセス・運営体制のイメージ</p>	<p>・石見銀山における竹林整備と活用の展開プロセス</p> <p>・石見銀山における竹活用プログラム</p> <p><b>イベント利用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちへのハチクタケノコ採りイベント</li> <li>竹材を活かした竹楽器作りとコンサート</li> </ul> <p><b>竹チップ利用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防草マルチ・堆肥</li> <li>簡易舗装</li> </ul> <p><b>ツーリズム・発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンボランティアツーリズム</li> <li>竹紙を利用した郷土本の出版</li> <li>竹杖を用いた「歩く観光」の推進</li> </ul>
<p>図・写真資料</p>	<p>写真1子どもたちのハチクタケノコ採りイベント</p> <p>写真2竹チップと真砂土の混合による簡易舗装</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="406 1512 869 1825"> <p><b>竹の活用の次のステップ(1) 竹の紙</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石見銀山の竹林整備で切った竹で紙を作る</li> </ul> <p>鹿児島県 中越ハルブ工場へ持ち込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>その紙で石見銀山の本を作る</li> </ul> <p>『銀のまちをつくった人たちの話』 自費出版 1575円 本文全部の用紙に竹100%の紙を使った本はこれが全国で初めて</p> <p>写真3竹紙を用いた本の出版</p> </div> <div data-bbox="885 1512 1348 1825"> <p><b>竹の活用の次のステップ(2) 竹の杖</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石見銀山の竹林整備で切った竹を杖に加工し、観光客に貸し出す</li> <li>竹の杖のデザインコンテスト 2012年 協力: 中村プレス</li> </ul> <p>オリジナル竹杖づくりワークショップを継続開催中</p> <p>最優秀賞作品: 希東竹杖</p> <p>写真4竹杖による「歩く観光」の推進</p> </div> </div>
<p>参考資料</p>	<p>平成25年度里なび研修会in兵庫県姫路市パワーポイント資料「石見銀山での竹林景観整備の取り組み」(和田譲二)</p>